（別記様式第１２号）（第３の８関係）

（　松本地域）

令和５年度　地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	閑散期の安曇野の魅力を伝える周遊観光振興のためのガイドブックコンテンツＤＸ
事業主体 （連絡先）	安曇野スタイルネットワーク実行委員会 連絡先：長野県北安曇郡池田町池田 2607-1
事業区分	(6)産業振興、雇用拡大（ア 特色ある観光地づくり）
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,360,000　円（うち支援金：　1,088,000　円）

事 業 内 容

安曇野の素晴らしさ、魅力を伝えるために、「安曇野スタイル」イベントを 2004 年 11 月（文化の日）を初回に数日間毎年開催している。(2023 年 11 月 3 日（金）～5 日（日))

安曇野地域の夏と冬の閑散期の活性化のため、コロナ禍で減少した観光客の呼び水になるための勉強会、シンポジウムを開催し、周遊型観光を実施した。

・安曇野スタイルイベント　準備 6 月～終了 3 月
・シンポジウムの開催　10 月 8 日「きぼう」61 名参加
・勉強会の開催　8 月 18 日（金）2 回　各 10 名参加

（活動写真）

【シンポジウムの様子】

事 業 効 果

① 支援金を活用して、コロナ禍に落ち込んだ来場者数を、新聞等掲載した広報活動によって集客力を強化したし、昨年度比 45%増加延べ 18,135 名の来場者数となった。
　・ホームページのべ閲覧数は 1,268 回（前年度）→約 10%アップ 2023 年 1,352 回
　・Facebook 登録者（フォロー）数は 2,217 名（前年度）から 130 名アップの 2,347 名 となった。
② 当団体が担う、魅力ある安曇野についてのシンポジウムを開催して、出展したいなどお問い合わせが多くあった。コロナ禍前は、大々的な広報活動を控えていたが、本事業の実施により、来場者が増加したといえる。

【目標・ねらい】

① 魅力ある周遊観光振興
② ガイドブックコンテンツの DX 化
③ 観光客・関係人口の増加
④ 活動のブランド力アップ

※自己評価【　B　】

【理由】
シンポジウムなど告知活動をおこない出展者・参加者ともに増加した。コロナ禍前の来場者数を目標（75%増加）としたが、昨年度の 45%増加にとどまった。

今後の取り組み

2004 年から続けてきた、地図を片手にガイドブックを持ちながら出展者の工房を回る周遊型観光を続けることは、安曇野地域の自然や食や暮らしを楽しめる、地域全体を巻き込んだ有意義な観光振興に大きく寄与している。時代の流れとともに SDGs 等のサスティナブルな社会や、人々の休暇の多様化などが進み、デジタル化で代替できることは DX 化を進め、多様なクロスメディアを利用したガイドブック制作をおこなうことは、これからの周遊観光のモデルになる取組である。来年度は、多様化されたイベントの中で、ブランド力の一つとして持続可能な社会への貢献できるサスティナブルな活動や、インバウンドに備えたデジタルコンテンツを充実させて、魅力ある周遊観光を展開したい。